



## □インフルエンザワクチン接種について

- ・65歳以上は無料
- ・生後6か月～中学生までと
- ・妊婦さんは2,000円の助成

●接種期間は令和3年1月31日まで



YKOSHICU

因みにコロナ感染及び季節性のインフルエンザ流行も考慮され

□感染対策検査体制 □

発熱風邪症状出た方は、電話でかかりつけ医に連絡➡

インフルエンザ もしくは PCR いずれかの判断仰ぎ検査を受けられます！

## 田中かずみ の議会質問 ふかぼり☆三

### 背景と 思い

HPVワクチン接種が、積極的勧奨（強くお勧め）をしなくなり7年が経ちます。欧米諸国等ではかからなくてよい病気となりつつある今、日本だけが子宮頸がんにかかる女性が増えている現実。

公明女性議員が勝ち取ってきた無料定期接種が制度化されていながら、その機会があるにもかかわらず(中学1～3年生と、高校1年生)そのことを知らされていないという事実。

副反応の可能性も含め(ある意味全てのワクチンに副反応の可能性は0ではない)接種する・しないは、個々のご家庭の判断ですが、希望すれば無料の接種できる情報は届けたい。子宮頸がんて亡くなる、もしくはその後子どもを持てなくなる等、悲しい思いをする女性をなくしたい。➡この思いのまま担当課との意見交換を、この夏何度も重ねてきました。

### 質問

すでに今年中にも、対象者への個別通知の方向へ国も動き出している。国の通達を待たず本市として、無料期間に間に合わせるべき(過ぎると実費5万円)と考えるが高校1年生への対応は。

### 答弁

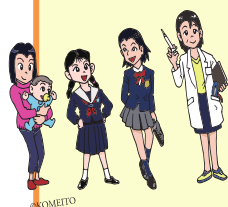
高校1年生に対し、8月下旬には個別に情報を送付した。今後も対象者への的確な周知に努める。

実現  
しました

### 後日談 と 思い

この本市の対応には、非常に感激しました。というのも8月中の個別送付実施は県内40市中7市のみ。この数字をみても、国からの事務連絡ある前に動く事がいかに重いことなのか、分かるものです。

毎年の接種がほぼ0から、今回医療機関への問合せが数十件、実際の接種が2人あったとの事は、母と子で将来的に大事な体を、女性として大切にすること等の話し合い・考える良い機会になったと、信じます。



©KOMETTO